

令和5年6月5日

事後評価（中間評価）	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
生涯学習課 管財課	平成30年4月～平成31年3月
	公表の方法
	御所市ホームページ

交付対象事業

[illegible]

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 区域拡大の都市計画変更が事業期間内に着手できなかったため追加供用がなく、避難住民の受け入れ人数は増加しなかったが、運動公園の改修を行ったことにより、広域避難所としての機能強化を行った。
- ・ 市内都市公園の遊具等について長寿命化計画を策定した結果、事業期間中に改築すべき施設がなく、定量的指標の進捗はなかったが、計画的な補修を行うことで安全で安心して利用できる公園の確保ができた。

II 定量的指標の達成状況

指標①避難住民の受け入れ人数の増加割合達可能面積の割合

最終目標値

122%

目標値と実績値に差が出た要因

最終実績値

100%

指標②更新工事に着手する箇所の割合＝（更新（改築）工事に着手した箇所）／（長寿命化計画に位置づ

最終目標値

73%

目標値と実績値に差が出た要因

最終実績値

0%

区域拡大の都市計画変更を進めていたが、市議会での議論を踏まえた公園計画の見直しが必要となったため計画期間中の事業着手ができなかったため

長寿命化計画を策定したが、H28・H29年度は補修のみで対応できたため、事業に着手しなかった

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
（必要に応じて記述）

第1グラウンドを天然芝から人工芝化したこと、及びトイレ改築工事をしたことにより、施設の利便性が向上し、運動公園の利用者が増加した

3. 特記事項（今後の方針等）

御所市総合運動公園内の管理棟観覧席の改修工事を計画している。

御所市総合運動公園に追加する区域の公園計画について、地元住民等への説明を丁寧に行い、都市計画変更手続きを進め公園事業化を図る。

災害時の避難経路となる都市緑地として、出屋敷周遊公園整備事業を計画している。